

HIGASHIOSAKA CENTRAL ROTARY CLUB

(第 2660 地区)

WEEKLY BULLETIN

No.3

東大阪中央ロータリークラブ

創立 昭和47年2月20日
例会日 毎週月曜日 12:30~
例会場所 シェラトン都ホテル大阪3F
事務局 東大阪市小阪本町1丁目5-14
〒577-0802 小阪本町ロイヤルハイツ405号
TEL: 06-6753-8823
FAX: 06-6753-8826
E-mail: jahcrc@gmail.com



会長 岩橋 竜介
会長ノミニー 尾崎 元
副会長 佐井 義昌
幹事 岩崎 史郎
会報委員長 百濟 洋一

”Serve to Change Lives”

「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021~2022年度 国際ロータリー会長 シェカール・メータ

第 2161 回例会 令和 3 年 7 月 26 日 (月曜日) 第 3 号

本日の例会 7月26日(月) 第3例会

●新年度方針説明

クラブ奉仕: 細川勝治
親睦: 帆足嘉寿大
会報P 雑誌広報・職業奉仕: 百濟洋一
会員増強・分類選考: 浅野光男

本日の献立 フランス料理 (軽食ワンプレート)

次回の例会 8月2日(月) 第1例会

●新年度方針説明

国際奉仕・クラブ研修: 佐藤三千秋
ロータリー財団・青少年奉仕活動: 岡本慎一
米山記念・カウンセラー: 名村美紀
出席・情報: 芝池福子

前回の例会 7月12日(月) 第2例会

●直前会長幹事慰労会

シェラトン都ホテル大阪「志摩の間」

幹事報告 幹事 岩崎 史郎

1. 来週、7月19日は休会となっております。
次回例会は7月26日、新年度方針説明です。
担当各委員長、ご準備のほどよろしくお願い致します。

出席報告 芝池 委員

本日の会員数	19名
本日の出席者数	15名
本日の出席規定適用免除会員	4名
本日の出席率	100%
6月28日の修正出席率	94.44%

開会の辞 副会長 佐井 義昌

皆様こんばんは。この度は新型コロナウイルスの件で本当に大変です。会員の皆様方には何かとお忙しい中で慰労会にご出席いただきまして、誠に感謝いたします。ありがとうございます。
本年度副会長を仰せつかりました佐井でございます。岩橋会長の補佐役として、尽力して参りたいと考えています。本日は岡本直前会長、細川直前幹事が昨年7月から今年6月までの一年間、先頭に立ち、当クラブ運営に尽力されたことに敬意を表し、慰労する会であります。お二人にはゆっくりと料理を味わっていただきたいと思います。
本席が会員相互の親睦をさらに深める席になりますように、また、会員皆様のますますのご発展と隆盛、ご健康とご多幸を祈念申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。

感謝の辞 会長 岩橋竜介

岡本直前会長・細川直前幹事におかれましては、一年間大変なご苦勞の中大役を務めていただき、東大阪中央ロータリークラブ一同、心より感謝申し上げます。コロナに始まり、コロナに終わる「フル・コロナ」の一年でした。わからないことだらけで、先行きが見えない中でしたが、お二人が力を合わせて難局を切り抜けてこられたからこそ、私どもも何とか一年を終えて、新しい年度に入ることができました。お二人のお姿を横で拝見しながら多くのことを学ばせていただきました。

岡本直前会長のことを考えます時に、私が思い出すのは、岡本直前会長と私とはいくつかの共通点があるということです。「体型」は見ての通りで、その一つですが、もう一つは岡本直前会長も私もクリスチャンであるということです。同じ信仰を持つ仲間であるということ。それで、私どもクリスチャンが大切にしている世界のベストセラーの聖書には、様々な大切な言葉・教えが記されており、人生や仕事や生活の指針となる言葉に溢れています。その一つにこういう言葉があります。

『あなたに一ミリオン行くように強いる者がいれば、一緒に二ミリオン行きなさい』

ミリオンとは距離のことで、マイルのようなものです。一ミリオン行くことは当然果たすべきことですが、その当然すべきことで終わるのではなく、相手のことを慮って、求められていなくても自分で犠牲を払ってもう一ミリオン行くことを表しています。

岡本直前会長は、皆の見えるところでしっかりと会長として果たすべき責務を果たすことはもちろんですが、見えないところでクラブのことを考えて、労をいとわずに「もう一ミリオン」行ったださる方でした。そのようなお姿を見て感銘を受けた一人であります。

また、細川直前幹事におかれましては、その岡本直前会長を表からも裏からも支えられ、陰に日向にクラブの刷新のためにご尽力を賜りました。細川直前幹事の普段例会でのお姿や物腰は穏やかで、朗らかで、だれにでも気を遣ってくださり配慮をさせていただきます。しかし、昨年度はそれが変わることも見させていただきました。筋を通すためには、はっきりものを言い、厳しい姿勢で臨まれたのです。どこからそのような姿勢が生まれてきたのかを考えていました時に、思い浮かんだのはやはり「柔の道」ではないかということでした。『柔よく剛を制す』と言われます。しなやかさと堅さを心得つつ、大きな問題に対処して行かれるお姿を横で拝見させていただきましたし、時に私もその厳しさから学んだ一人でありました。

困難な時に、どのようにかじ取りをするか。そこにリーダーの資質が問われるものだと思いますが、岡本直前会長、細川直前幹事におかれましては、コロナ禍のど真ん中という厳しい状況の中で改革に取り組み、推進してこられました。このようなお二人を直前会長・直前幹事として擁することができたことは、クラブにとって幸いでありました。後を引き継ぐ私や岩崎幹事にとっては大きなプレッシャーでもあります。

岡本直前会長、細川直前幹事。本当に一年間お疲れさまでした。またクラブを代表して、心からそのお働きに感謝いたします。

謝辞

直前会長 岡本 慎一

皆様こんばんは。

コロナ禍であるにもかかわらず、ご参集下さり、直前会長幹事慰労会を設けて下さり、本当にありがとうございます。

また、1年簡本当にありがとうございました。

ただいま、岩橋会長から過分なお言葉を頂戴して、恐縮致します。

1年間を振り返ってみて、私自身会長として、十分な働きをできたとは思っていませんし、このような席を設けて頂くことなど考えられないこととも思いました。

直前会長幹事慰労会の日程が具体的に決まるまでも、逡巡した上で、辞退するべきではないかとも考えていました。

私自身、東大阪中央ロータリークラブに入って、奉仕活動や親睦活動という、他では経験できないような貴重な体験をさせていただきました。

そんな東大阪中央ロータリークラブと会員の皆様には、感謝の思いしかありません。

今回の慰労会は、そんな私への皆様からの激励と受け止めて、これからもクラブ活動に微力ながら尽力していきたいと思えます。

本当にありがとうございました。



謝辞

直前幹事 細川勝治

このようなコロナ禍の状況の中、慰労会を催して頂きありがとうございます。

2回目の幹事でしたが、今、振り返ると前期は殆ど例会行事が中止になり、クラブ活動が行えず、もやもやしていました。

また、事務局員の交代があり、岡本会長と共に大変エネルギーを使いましたが、苦勞の甲斐があり結果的には良かったと思っています。

下期に入り、クラブ活動が制限される中でも、百済社会奉仕委員長の下、4月には当クラブの伝統的に継続してまいりました献血活動を、会員の皆様と一緒に布施駅前で行うことができ、コロナ禍の中でもたくさんの血液が採取出来ました。

また、6月には地区補助金を活用して公德学園の子供達に自転車とデジタルカメラを贈る事が出来、奉仕活動の実施が出来た事が良かったと思っています。

岡本会長の下、1年間幹事として十分な役目が果たせたか、自問自答している次第でございます。次年度の岩橋会長、岩崎幹事に於かれましては、1日も早くコロナが終息し楽しい例会が出来事を心からお祈り申し上げます。



閉会の辞 会長ノミニー 尾崎 元

岡本直前会長・細川直前幹事、本当にごくろうさまでした。

1 昨年の12月に中国武漢から始まったコロナウイルスによるパンデミックにより、日本はもとより世界中が大混乱になり、現在も進行中です。この間に会長・幹事となられたお二方のご苦勞は大変であったのではないかと推察いたします。例会や理事会を開催するかどうかの判断や、奉仕事業の取り扱いなど困難な問題に直面されたとおもいます。

お二方の考えておられた事業も多くは断念せざるをえず、悔しい思いをされたのではないのでしょうか。岡本会長はまだ若く、これからロータリアンとしての本領を發揮される時期にさしかかるとおもいますので、ぜひ機会があれば再度会長職に就任し、今回のリベンジを果たしていただきたいと考えています。お二方の今後の活躍を祈念して閉会の辞とさせていただきます。



